

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 3-1-3	事務事業名 防災意識の啓発	所管部課 危機管理室 危機管理室
----------------	------------------	------------------------

施策コード 安2-1	施策名 災害に強いまちづくり	施策目標 市民の生命や財産を守るため、防災基盤の整備を計画的に進め、災害に強い安全・安心なまちづくりをめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	大規模災害時には、市民の自助、防災市民組織等を中心とした共助の力の強化が、市の防災力強化のために重要であるとの認識に基づき、市民等の防災に関する知識の習得および防災意識の向上を図ることを目的にイベントや展示を行う。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	常時開設事業として防災センターの展示室には展示コーナー(防災備蓄品、パネル等)、体験コーナー(タッチパネル式防災Q&A、東京ガス電飾防災ツール展示台等)の設置及び防災セミナー室での災害VTRの視聴等ができる多目的スペースを設置。 随時事業として、防災センター講座室を利用した研修の実施やイベント開催を通じ防災意識の啓発を図る。 (予算：災害対策事業費 13委託料)	
	事業開始時期	平成23 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		0	3,675	914	914
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	2,500	0	0
一般財源		0	1,175	914	914
所要人員(B)	人	0	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	817	770	823
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	4,492	1,684	1,737
単位当たりコスト(E)=(D)/(イベント実施回数)	千円	0	2,246	842	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① イベント実施回数	実績値 回		2	2	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 平成23年度、24年度は10月、1月にイベント実施。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 イベント参加人数	目標値 人		1,238	1,330	1,400
	実績値 人			1,240	
二 展示室の見学者数	目標値 人		411	425	440
	実績値 人			209	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 見学者数は実数把握困難なため、社会科見学者数とアンケート記入者数の合計とした。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	イベント時に聞き取った意見等ではおおむ好評。	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	防災センター内に展示室を備えているのは近隣(東久留米、小平、東村山、武蔵野、三鷹)では西東京市のみ。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	国や都などの防災館、防災センターに防災学習や体験施設がある。

事業コード 3-1-3	事務事業名 防災意識の啓発	所管部課 危機管理室 危機管理室
----------------	---------------	------------------------

施策コード 安2-1	施策名 災害に強いまちづくり	施策目標 市民の生命や財産を守るため、防災基盤の整備を計画的に進め、災害に強い安全・安心なまちづくりをめざします。
---------------	-------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>今後の市における防災対策上重要な自助・共助に関する事業であり、直接市民の生命・財産の保障に係る内容であるため、事業の継続性、必要性、重要度は高く、今後も引き続き取り組みが求められる。</p> <p>事業の推進に関しては、市が主体となりつつ、市民や防災市民組織などの関連他団体との連携が可能な部分もあれば検討していく。</p> <p>事業の趣旨から、なるべく多くの市民への周知を図ることを目的に、展示コーナーやイベントは、立地条件や内容から、参加者や見学者が限られてしまいがちな点に配慮し、なるべく広い層が関心を持てる内容とするよう検討を行いたい。</p> <p>また、学校を通して行う防災教育が重要、効果的であることから、教育委員会や保育課等と連携した取り組みを検討していくこととする。</p> <p>今後アンケート調査等を通じ市民意見の把握や、市民に必要な情報を的確に伝えられるよう工夫を行っていくこととする。</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	1	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>市民の防災意識を高めるために、26市では例のない「展示コーナー」を常設しており、その展示施設は学校事業としては活用されているが、一般利用の見学者は少ない状況となっている。</p> <p>については、設置場所について、見学者の目に触れやすくなるような工夫や他部署との連携、さらには防犯の意識を高めるための展示等、工夫を検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>防災意識の啓発については、市民への防災に関する情報の伝達や意識の醸成を促し、地域の防災力の強化につながるためにも重要であり、防災講話やイベント等による意識啓発に取り組んでいることは評価すべきである。</p> <p>一方で、防災センターに配置している展示コーナーは、平成23年度に防災意識の啓発拠点としてリニューアルしたところだが、学校行事以外で一般の市民による活用に課題がある。</p> <p>市民の防災意識を高めるためには、展示コーナーの更なる活用も必要であり、市民ニーズを把握した上で、展示コーナーの運営のあり方について更なる検討の必要がある。</p>